

自動処理_ヒト全血からのゲノム DNA 分離

プロトコル

2 ml マイクロチューブ(サンプルチューブ)*1

下記 a, b をサンプルチューブの底に分注する。

← a. EDB 溶液:30 μ l *2

← b. 全血:200 μ l *3

装置にセット

Protocol: DNA WHOLE BLOOD

(溶出液量 : 200 μ l *4)

*サンプルチューブのセット方法については、

Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。

1. Pre-Heating (3 分間)
2. 250 μ l の Lysis Buffer(LDB) を添加
3. ピペッティングにより攪拌
4. インキュベーション(50°C, 2 分間)
5. ライセートを移液後、250 μ l のエタノール (>99%)と混合
6. ピペッティングにより攪拌
7. ライセートをカートリッジにアプライ
8. 加圧
9. Wash Buffer(WDB)で 3 回洗浄
10. 溶出液(CDB)を添加し、ゲノム DNA をコレクションチューブに回収

ゲノム DNA

*1 推奨のマイクロチューブ
#BM4020 (ビーエム機器)
#72.695.700(SARSTEDT)
#72.695.500S(SARSTEDT)

*2 ヌクレアーゼフリー水を添加混和後、室温で 30 分静置し、完全に溶解してからお使いください。

*3 採血後 3 日以内に、EDTA-2Na、EDTA-2K、またはヘパリンで処理した全血サンプルを用いる。

*4 標準的な収量は、全血 200 μ l から 4~8 μ g です。推奨溶出液量は 200 μ l です。溶出液の容量は 50 μ l まで減らすことができますが、その場合、溶出効率が低下する可能性があります。

結果

ゲノム DNA (血液 200 μ l) の収量

| サンプル ID | #1 | #2 | #3 | #4 | 平均 | S.D. |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 収量 (μ g) | 5.6 | 5.4 | 5.6 | 5.5 | 5.5 | 0.10 |

タンパク質の混入 : A260/280

| サンプル ID | #1 | #2 | #3 | #4 | 平均 |
|----------|------|------|------|------|------|
| A260/280 | 1.94 | 2.13 | 2.04 | 2.10 | 2.05 |

カオトロピック塩の混入 : A260/230

| サンプル ID | #1 | #2 | #3 | #4 | 平均 |
|----------|------|------|------|------|------|
| A260/230 | 1.79 | 2.07 | 1.89 | 1.99 | 1.93 |

共通プロトコルサンプル

イヌ全血